

新聞を
学ぼう
取材する

学校で教える内容を示した学習指導要領が変わり、平成二十三年度から新聞について学ぶ授業が増えます。みなさんの家庭や学校に毎日届けられる新聞は、どのように作られているのでしょうか。福島民報社の編集局をのぞいてみましょう。

新聞製作のスタートライン

新聞を作る作業は、記事の材料を集める取材から始まります。取材し、記事を書く仕事するのが新聞記者です。福島民報社には県内各地や東京などに取材記者がいます。

記者は取材の必需品として、ペン、メモ帳、カメラ、携帯電話をいつも持ち歩いています。取材相手の話を欠かせません。



子どもたちを取材しメモを取る本紙記者

どんなニュースを取材するかが決まったら、関係する人々から話を聞いてメモを取ったり、現場の様子を見て写真を撮ったり、資料を調べます。大きなニュースでは、複数の記者が手分けし、チームプレーで取材することもあります。

記事はかつて原稿用紙に手書きしていましたが、今はパソコンで打ち込み、送信します。締め切り時間が迫った深夜の事件・事故などでは、頭の中で原稿を組み立て、携帯電話を使って言葉で本社に伝えることもあります。